

SM インベストメンツ—— 大谷 拓史

SM Investments Corporation

業種：コングロマリット

● フィリピン最大の財閥企業

SMインベストメンツ（以下、同社）は、小売りに強みを持つフィリピン最大のコングロマリット企業。小売り以外に不動産、銀行を主力事業として行っており、物流や鉱山開発なども手掛ける。2022年1月～9月期の売上構成は、小売り：68%、不動産：18%、銀行：6%、その他：8%と約7割を小売りが占めている。一方で、純利益構成では、銀行：45%、不動産：23%、小売り：19%、その他：13%と約5割を銀行が占めている。

同社はフィリピンで時価総額第1位。傘下に不動産のSMプライム（SMPH）、銀行のBDOユニバンク（BDO）という業界トップ企業を保有しており、それぞれ時価総額第2位、第3位。

● 2022年7～9月期は大幅な増収増益に

同社の2022年7～9月期は、売上が前年同期比64.9%増の1398億ペソ、純利益は同112.0%増の152億ペソであった。新型コロナウイルスからの回復により、各主力事業が軒並み改善。中でも、学校の対面授業が本格的に再開されたことで、衣料品などの関連商品の売上が好調だった。海外労働者からの送金額が増加傾向であったことも寄与し、消費者支出の勢いが続いた。

不動産事業では新型コロナウイルスの緩和によるモールをはじめとした賃貸料金の正常化、客足の増加が恩恵。銀行部門では、不良債権比率の改善が見られた。

● 国内の中長期的な成長見通しを追い風に

2022年12月に政府が発表したフィリピンの2023年GDP成長率見通しは6%～7%に下方修正された（従来予測：6.5%～8%）。国内外のインフレや世界的な景気減速が背景にあるようだ。同社の主要事業は国内経済の状況に影響を受けやすいため、今後の景気減速は懸念材料ではあるものの、2024年～2028年のGDP成長率においては年6.5%～8%の見通しであり、中長期的な成長が予想されている。

また、米国の政策金利引き上げに合わせるかたちで、フィリピンでも7回の利上げが行われた。これは、景気を冷やす要素である一方、同社の銀行事業においては、貸出金利の上昇に繋がり、利ザヤの拡大が期待できる。このように事業分散がなされていることも同社の魅力の一つである。

株式データ

2023/1/18 現在

| | |
|-------|-----------|
| 株価 | 930.5ペソ |
| 売買単位 | 10株 |
| 時価総額 | 1兆1371億ペソ |
| 予想PER | 21.51倍 |
| ROE | 11.55% |
| 52週高値 | 995ペソ |
| 52週安値 | 720ペソ |

業績推移

【連結】

| 決算期 | 売上高 | 前年比 | 純利益 | 前年比 | 1株利益 | 1株配当 |
|--------|---------|--------|--------|--------|-------|------|
| '19/12 | 465,250 | 10.5% | 44,568 | 20.2% | 37 | 9.12 |
| '20/12 | 368,687 | -20.8% | 23,390 | -47.5% | 19.42 | 4.25 |
| '21/12 | 387,916 | 5.2% | 38,499 | 64.6% | 31.96 | 4.25 |

単位：百万ペソ、ただし1株利益、1株配当はペソ

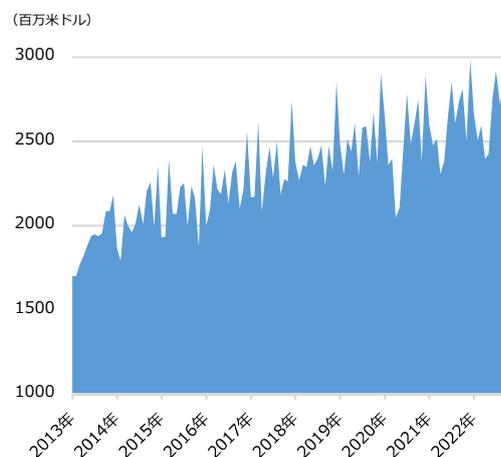
※1株配当は株式分割・併合等調整済み、売上高は配当収入、関連会社収益を除く

株価チャート（週足2022年1月28日～2023年1月13日）



【出所：株式データ、業績推移、株価チャートともにブルームバーグ等、アイザワ証券作成】

海外出稼ぎ労働者の送金額（月次ベース）



金融商品取引法に基づく表示事項

■ 本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

外国株投資の主なリスクと留意点

株価・為替の変動リスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。外国株式は、為替の変動等により、損失が生じるおそれがあります。

流動性リスク

流動性が低い銘柄の場合、市況または注文の規模により、望ましい価格での売買注文の執行が常に可能とは限らず、極端な場合、取引ができないことがあります。

カントリーリスク

投資対象国の経済的要因、政治的要因、社会情勢の混乱により、株式市況が影響を受けることがあります。また、各国の慣習や文化などの違いにご注意ください。

お客様にご負担いただく手数料等について

外国証券の外国取引にあたっては、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます（最低手数料は買いの場合のみ 5,500 円）。

対面口座： 売買代金の一律 2.20%

インターネット口座「ブルートレード」： インターネット発注 売買代金の 1.65%、コールセンター発注 売買代金の 1.98%、コンサルネット発注 売買代金の 2.20%

外国証券の売買等にあたり、円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。お取引の際は、契約締結前交付書面等をよくお読み下さい。

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者またはアイザワ証券と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE 公式アカウント はじめました！

ベトナムを中心とした
アジア情報をお届けします
[友だち追加はこちらから！](#)



ID: @aizawa